

第43回

福島県児童・生徒木工工作コンクール

表彰式

開催日時 平成30年11月24日（土） 午前11時

開催場所 いわきワシントンホテル 椿山荘

福島県木材青壮年協会

式 次 第

【表 彰 式】

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 来 賓 紹 介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

【記 念 撮 影】

出席者名簿 (敬称略)

【ご 来 賓】

福島大学人間発達文化学類教授	新 井 浩 (あらい ひろし)
関東森林管理局磐城森林管理署長	橋 爪 一 彰 (はしづめ かずあき)
福島県農林水産部林業振興課 主幹兼副課長	上 野 徳 夫 (うえの のりお)
いわき市農林水産部林務課長	人 見 進 一 (ひとみ しんいち)
ラジオ福島いわき支社長	渡 邊 和 之 (わたなべ かずゆき)
福島テレビ営業局営業部長	木 村 毅 (きむら つよし)

【主 催 者】

福島県木材青壮年協会長	山 崎 和 昭 (やまざき かずあき)
-------------	---------------------

【受 賞 者】

福島県知事賞	第1部	阿 部 幸 賢 (あべ こうけん)
〃	第2部	井 上 喬 平 (いのうえ きょうへい)
福島県教育委員会教育長賞	第1部	田 口 元 音 (たぐち ながと)
〃	第2部	川 上 諒 人 (かわかみ りょうと)
関東森林管理局長賞		鈴 木 咲 桜 (すずき さくら)
いわき市長賞		片 桐 綾 香 (かたぎり あやか)
福島民報社長賞		渡 邊 哲 平 (わたなべ てっぺい)
福島県木材協同組合連合会長賞		高 木 結 衣 (たかぎ ゆい)
福島県林業会館理事長賞		安 西 凜 真 (あんざい りま)
NHK 福島放送局長賞		桑 折 和 真 (こおり かずま)
ラジオ福島社長賞		渡 邊 栞 名 (わたなべ かな)
福島テレビ社長賞		板 倉 圭 佑 (いたくら けいすけ)
福島県木材青壮年協会	第1部	鈴 木 叶 琉 (すずき かなる)
福島県木材青壮年協会	第2部	鈴 木 琴 美 (すずき ことみ)

開催の趣旨

【目的】

再生可能な循環型資源として広く知られている木材は、地球温暖化防止に極めて有効な二酸化炭素の固定の手段としても注目を浴びています。このように優れた特性を持つ木材を実際に自分で切ったり、削ったり、組み合わせながら、香り・色・肌触り等の木の持つ良さを実感することで、未来を担う子どもたちの感受性を豊かにするお手伝いをしながら、木材の利用推進を図ることとします。

【主催等】

- ◇ 主催 ◇ 福島県木材青壮年協会・福島民報社・福島県木材協同組合連合会
- ◇ 後援 ◇ 福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・いわき市・
福島県林業会館・NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ

【応募資格】

- (1) 福島県内の小中学校の児童・生徒であること。
- (2) 木材及び林産物を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが60cmを越えないもの。

【審査基準】

- | | 配点 (100点) |
|----------------------------|-----------|
| (1) 子どもの頭で考え、子どもの手で作ったもの。 | 30点 |
| (2) 木の持ち味を活かし、独創性に優れていること。 | 30点 |
| (3) 機能、デザインが優れているもの。 | 20点 |
| (4) 工作技術が優れているもの。 | 20点 |

講 評

第43回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査委員長

福島大学人間発達文化学類教授

新 井 浩

第43回福島県児童生徒木工工作コンクールの審査は9月14日に、いわき・ら・ら・ミュウで行われました。その感想と講評をおこないます。

今年度は昨年度より出品数が増えたこととお聞きし、また会場の様子を見てみると力作有り、アイデアの優れた作品有り、木の魅力を強く活用した作品有りで、下見の段階から審査はレベルの高いものになるに違いないと思いました。

はじめに審査基準の確認をおこない、審査基準に沿って受賞作品を決めていきました。

第1部の最優秀賞に選ばれた阿部幸賢あべこうけんくんの〈はばたく鳥〉は、巢のそばで大きく羽ばたく鳥が木の皮の質感を活かして作られた作品でした。翼を広げた迫力が、木の皮の質感によって十分に発揮された魅力あふれる作品で、審査員一同で知事賞にふさわしい作品として評価しました。

第2部の最優秀賞に選ばれた井上喬平いのうえきょうへいくんの〈子負い虫と麦魚めだか・生と死〉は、水中生物の子負い虫がメダカを捕まえた様子を表した作品で、小さな生き物を大きく迫力ある作品に仕上げていました。枝やドングリや桜の木の皮を使って魅力ある作品に仕上げ、生き死にに関わる考え方も表された想いの深い作品となっていました。

続いて優秀賞に選ばれた各作品について講評します。

福島県教育委員会教育長賞1部に選ばれた田口元音たぐちながとくんの〈ふ化したヘラクレス〉は、土の中からヘラクレスオオカブトが、ふ化して出てきた瞬間を表した作品でした。枝分かれした流木がちょうどヘラクレスオオカブトの角に見えたので、その形を効果的に表すために、ふ化した場面を思いついた作者の喜びが伝わってくる作品でした。

同賞2部に選ばれた川上諒人かわかみりょうとくんの〈家の犬〉は、木の塊から彫刻刀やヤスリで彫り出した力作で、木のぬくもりと人の手による素朴な味わいのある作品でした。作者が愛らしい犬と家族同様に一緒に暮らしているようすが伝わってくる良い作品でした。

関東森林管理局長賞に選ばれた鈴木咲桜すずきさくらさんの〈仲良し家族〉は、鳥の巣の中にいるひなと親鳥の情景を表した作品です。マツボックリや木の実やツルや木の皮などたくさん種類を使って味わいのある作品となっていました。親鳥はお父さん鳥と書かれていて、ほのぼのとした様子がひとしお伝わってきます。

いわき市長賞に選ばれた片桐綾香さんかたぎりあやかの＜ジンベイザメと泳いだ夏休み＞は、作者が実際に過ごした夏休みの情景でしょうか。海中をジンベイザメと作者自身が泳いでいる様子が表されています。支柱を使って浮かんでいる様子が工夫され、海底までの海の深さが感じられるような作品でした。

福島民報社長賞に選ばれた渡邊哲平くんわたなべ てつぺいの＜ミレニアムファルコン号の貯金箱＞では、SF映画に出てくる宇宙船が細かな板を構成して貯金箱として表されていました。組み合わせる技術が優れており、貯金箱としての工作が丁寧に仕上がっていました。

福島県木材協同組合連合会長賞に選ばれた高木結衣さんたかぎ ゆいの＜四倉にあがった打ち上げ花火＞は、竹ヒゴを一本一本塗り分けて、放射状に接着した作品でたいへん華やかな作品でした。木工工作コンクールなので色の美しさは副次的に見られますが、形でも色でもこれからも大いにチャレンジして欲しいと思える良い作品でした。

福島県林業会館理事長賞に選ばれた安西凜真さんあんざいりまの＜魚を食べるわに＞は、魚を捕食したわにが水面から顔を出している様子でした。流木の質感が重厚で雰囲気があります。わにや魚の表情がどことなくユーモラスなのは作者の想いの一端と考えられ、情景描写に奥行きが出てきた作品だと感じました。

NHK 福島放送局長賞に選ばれた桑折和真くんこおりかずまの＜火星のどんぐりのすべり台型貯金箱＞は、会場で一番大きく作られた作品で、木の皮と竹で作られたすべり台に見立てた貯金箱の作品でした。貯金箱やすべり台であると感じ取れる前に、大きな構成が大変迫力があって、壮大な感じのする作品に仕上がっていました。

ラジオ福島社長賞に選ばれた渡邊葉名さんわたなべかんなの＜木工カレンダー＞は、木製カードを取り替えることでカレンダーになる作品でした。絵日記風に季節が移り変わる様子も取り替えることができ、ほのぼのとした味わいを感じ取れる作品として評価につながりました。

福島テレビ社長賞に選ばれた板倉圭佑くんいたくらけいすけの＜ノコギリクワガタ＞は、枝や風化した木材を使ってノコギリクワガタを作った作品でした。ひと抱えもある大きさで、ツノが動くように作ってあります。木のぬくもりと力強い迫力のある作品に仕上がっていました。

福島県木材青壮年協会賞 1 部に選ばれた鈴木叶琉くんすずきかなるの＜戦車＞は、角材の端切れを使って頑丈な形を作っていました。形に工夫があり、またキャタピラーをかんなくずで作るなど、新鮮な思いつきも感じられる作品でした。

同賞 2 部に選ばれた鈴木琴美さんすずきことみの＜ハチの標本＞では、標本になったハチを木材で大きく表現した作品で存在感のある作品でした。胴体や足を放り出すのに時間をかけた様子がかがえ、また羽根の翅脈も彫り出そうとする意気込みが強く感じられる力作でした。

全体講評に移ります。

今年の作品は気持ちのこもった作品が多く、その中から賞に該当する作品を選ぶのは大変でした。今回賞に選ばれた作品は中でも抜きん出た良さがありました。

人と木の関係は人が生まれた最初から今まで連綿と続き、これからも間違いなく続いていくでしょう。ところが歴史を振り返ってみると人と木の関係は必ずしも互助的な関係ではなかったようです。

文明はユーラシア大陸の中央部で生まれ、森を消費しながら大陸の両端に向かって行ったと云われています。そしてとうとう日本やヨーロッパという大陸の末端までたどり着きました。幕末や明治期に撮影された風景の様子を見ると、山の多くは木が切り倒された痛々しい様子の写真が多いです。山に植林し、持続可能な資源として守っていくことが大切だとようやく気がついたのは、わずか 100 年前であったと、先日新木場木材会館で行われた講演会で聞きました。

森を守るには、人が手を入れて管理し、木材を使いながら、英知を活かして森を更新していくことも大切です。

これからの社会を担う子ども達には、木材の有り難みと生活環境を支える大切さを大いに知ってほしいと思います。

そして社会や環境を形成する過程で、人と木のバランスのとれた未来を作っていくってほしいと思います。

この度は受賞おめでとうございました。これを励みにもっともっと皆さんが成長していくことを願い、講評の言葉と致します。

入賞者名簿

【最優秀賞】				
福島県知事賞 1 部	はばたく鳥	福島市立野田小学校	4 年	あべ こうけん 阿部 幸賢
福島県知事賞 2 部	こ おいむし め だか 子負虫と麦魚・生と死	いわき市立泉小学校	6 年	いのうえ きようへい 井上 喬平

【優秀賞】				
福島県教育委員会 教育長賞 1 部	ふ化したヘラクレス	いわき市立小名浜第二 小学校	3 年	た くち なかと 田口 元音
福島県教育委員会 教育長賞 2 部	家の犬	いわき市立磐崎小学校	5 年	かわかみ りょうと 川上 諒人
関東森林管理局長賞	仲良し家族	いわき市立平第五小学 校	5 年	すずき さくら 鈴木 咲桜
いわき市長賞	ジンベエザメと泳いだ 夏休み	いわき市立小名浜第一 小学校	6 年	かたぎり あやか 片桐 綾香
福島民報社長賞	ミレニアムファルコン 号の貯金箱	いわき市立勿来第二小 学校	5 年	わたなべ てつべい 渡邊 哲平
福島県木材協同組 合連合会長賞	四倉にあがった打上花 火	いわき市立大野第二小 学校	5 年	たかぎ ゆい 高木 結衣
福島県林業会館理 事長賞	魚を食べるわに	福島市立野田小学校	3 年	あんざい りま 安西 凜真
NHK 福島放送局 長賞	火星のどんぐりのすべ り台型貯金箱	福島市立野田小学校	6 年	こ おり かずま 桑折 和真
ラジオ福島社長賞	木工カレンダー	いわき市立平第六小学 校	3 年	わたなべ かなな 渡邊 菜名
福島テレビ社長賞	ノコギリクワガタ	いわき市立平第五小学 校	2 年	いたくら けいすけ 板倉 圭佑
福島県木材青壮年 協会長賞 1 部	戦車	いわき市立入遠野小学 校	3 年	すずき かなる 鈴木 叶琉
福島県木材青壮年 協会長賞 2 部	ハチの標本	いわき市立赤井小学校	6 年	すずき ことみ 鈴木 琴美

【入選】

福島県木材青壮年 協会賞	かぶとむしがいたよ	いわき市立赤井小学校	1年	お <small>ぎわ</small> 小澤 <small>かんじ</small> 莞爾
	ジャックとまめの木	いわき市立好間第一小学校	3年	いわ <small>きま</small> 岩崎 <small>つば</small> 翔
	森の学校	いわき市立御厩小学校	3年	えん <small>どう</small> 遠藤 <small>まさ</small> 正基
	とってきたカブトムシ	いわき市立泉北小学校	3年	さい <small>とう</small> 斎藤 <small>ゆうた</small> 悠汰
	ふういんされしドラゴン	いわき市立平第五小学校	4年	すず <small>き</small> 鈴木 <small>かえ</small> 楓樹
	空飛ぶりゅう	いわき市立泉小学校	4年	ほ <small>こ</small> 箱根 <small>なな</small> 七海
	自然ってすばらしいな	いわき市立中央台東小学校	5年	こん <small>どう</small> 近藤 <small>みゆう</small> 美結
	大きな未来	いわき市立中央台東小学校	5年	せき <small>ね</small> 関根 <small>ちか</small> 知風
	どんぐりの背比べ	いわき市立大野第二小学校	6年	すず <small>き</small> 鈴木 <small>もな</small> 萌菜
	ぼくだけのオリジナルサッカーボール	いわき市立平第四小学校	6年	さ <small>とうりゆう</small> の すけ 佐藤 龍之介
	森のゆうえんち	いわき市立夏井小学校	6年	わた <small>なべ</small> 渡邊 <small>あきな</small> 聡那
	コケの木と蟬	いわき市立上遠野小学校	6年	か <small>とう</small> 加藤 <small>あつし</small> 篤志